

# FURUTECH

## Review

### はじめての PC オーディオ - JAPAN



#### オーディオインターフェースの活用

#### オーディオと相性のいいオーディオインターフェースはこれだ



#### RME Fireface UCX

オープン価格 (市場価格15万円前後)  
 ■ 問: (株)シンタックスジャパン  
 URL: <http://www.synthax.jp/>

Point-1 サラウンド再生にも対応する豊富な TRS バランス出力端子

Point-2 USB/FireWire 両対応でどんなユーザーにも対応

一目見てオーディオ用と異なる外観をもつ本モデルは、音楽制作現場での使用のためにつくられたプロフェッショナル仕様のオーディオインターフェース。サードパーティー製のチップに頼らずFPGAで独自開発されたオーディオ処理回路Hammerfall X-Core 用いることで、OS に依存しない再生・録音環境を提供する。また、入出力もアナログ、デジタル含めると18in/18out と桁外れで、それら全てが192kHz/24bit に対応する。また、デジタル信号の天敵であるジッターを抑制するSteadyClock 機能や、専用ドライバーのインストール無しで使用できるクラス・コンプライアンスモードを搭載するなど、高品質を求めるオーディオファンにお薦めできる一台。



#### ADL GT40 USB DAC

オープン価格 (市場価格4万円前後)  
 ■ 問: フルテック (株) TEL.03-5437-0281

USB DAC という名を冠しながらも、音声を PC に取り込むことができるオーディオインターフェース機能を持っており、さらに入力段にフォノイコライザー (MM/MC 対応) を搭載している。そのため、アナログレコードをダイレクトにつなぎ、アーカイブソフトや DAW ソフトを使用して最大96kHz/24bit のクオリティで録音することができるのが本モデルの大きな特徴となっている。もちろん、通常の USB DAC 内蔵ヘッドフォンアンプ/プリアンプとしても使用できるコンパクトで多機能なお薦めモデル。

Point-1 調節のしやすい大型ボリュームノブを採用

Point-2 ライン/フォノ入力切り替え可能な RCA 端子

#### オーディオインターフェースの活用例

